No.121
2015
Summer

Hachinohe
Institute
of
Technology
Press
SOUKYU

蒼穹

学校法人八戸工業大学 広報

H. I. T. Communication

CONTENTS

八戸工業大学

p2−3　ドクターカー寄贈・地域産業総合研究所設置・学生チャレンジプロジェクト公開発表会・就職懇談会・建築コンペ入賞・ジオラマ完成・新入生オリエンテーション・体育祭

p4−5　部活動(バレーボール部･卓球部･アーチェリー部･ソフトテニス部)・ボランティア活動・資格取得・紙芝居の絵制作・OB個展・留学生・卒業生の活躍

p6−7　受賞・保護者後援会・新相談員・名誉教授・公開講座・教員免許状更新講習・工大祭・同窓生の集う会・保護者懇談会・行事予定・オープンキャンパス・進学相談会・入試日程

p8−9　カラーページ「高総体」

八戸工業大学第一高等学校

p10−11　高総体を振り返って・高総体優勝種目一覧・企業訪問・交通安全教室・ボランティア活動・志学寮歓迎会・卒業生の活躍

八戸工業大学第二高等学校

p12−13　高総体・ボランティア活動・記念樹植樹・ビジネスコース清掃奉仕・総合学習・PTA母親研修旅行・卒業生の活躍・40周年記念式のお知らせ

さくら幼稚園

p14−15　うんどうかい・卒園児の活躍・ようちえんってこんなところ・とらんぽりん

p16　理事会・評議員会

Mobile & iphone & Android
モバイルサイトへアクセス▶▶▶

移動型緊急手術室搭載ドクターカーを八戸市へ寄贈

本学は、八戸市立市民病院と共同で研究開発を進めてきた緊急手術室の機能を搭載したドクターカー(通称「ドクターカーＶ３」）を八戸市に寄贈することとし、６月23日、関係者が出席し本学でセレモニーが行われた。

このドクターカーは今春完成したもので、平成24年の開発開始以来、けん引式（テント型処置室）の第１世代、けん引式第２世代を経て、現在の第３世代の自走式へと改良が重ねられてきた。昨年、弘前市で開催された緊急消防援助隊北海道東北ブロック合同訓練（総務省・消防庁主催）などで試験運用が行われた。開発にあたった機械情報技術学科浅川拓克助教らは、５月31日、八戸市中心街の歩行者天国「はちのへホコテン」で車輛を展示し、大きな関心を集めた。

寄贈後は、八戸市立市民病院で人工心肺補助装置や人工透析器などを搭載し、実用化に向けた準備を進めることになっている。このドクターカーの配備により、八戸圏域住民の救命率、社会復帰率の向上に向けた高度な救急医療への更なる貢献が期待されている。

「地域産業総合研究所」平成27年４月設置

日本の社会が成熟期を迎え、人口動態の大きな変化を伴う社会構造変化の中で、大学が地域社会と係わるあり方が大きく変化しようとしている。本学では、地域の特質を活かした研究活動、教育・人材育成を通してより密接な地域社会との連携を目指し、この４月に組織変更を行い「地域産業総合研究所」を設置した。

本研究所では、地域の特質と活力を更に高め、地域が長期的に継続発展できる基盤を作るために解決すべき様々な課題に対し、大学の研究・教育活動を有機的に結びつけながら、本地域が特色として持つ、エネルギー、海洋などをはじめとした具体的な課題解決に先導的な役割を果たすべく研究活動を推進することとしている。

地域産業総合研究所所長
四竈（しかま）　樹男（たつお）

「学生チャレンジプロジェクト事業」公開発表会

６月24日、平成26年度の「学生チャレンジプロジェクト事業」の公開発表会が本学メディアセンターで行われ、昨年度採択の９つの事業が発表された。

この事業は、学生のグループが自由な発想で身近な課題に取組み、その成果を社会に還元することを目的に活動費用として最大40万円を助成するものである。

発表は、プレゼンテーション形式で行われ、藤田成隆学長ら４名が審査した結果、地元名産の魚介を原料にした“ご当地ふりかけ”などの開発に取り組んだ「県産品の機能性を活かす食品開発」（食品研究会）が最優秀賞に選ばれ、代表者に表彰状と副賞が贈られた。

また、「青森県近・現代建築歩き方ガイドマッププロジェクト」（ＡＤＬ）と「大学敷地内プロジェクト」（カルテット）に優秀賞、「ルームフレグランス商品のデザイン開発」（ローカル・フレグランス）に学長特別賞が贈られた。（　　）内はグループ名

第１回学生と企業との就職懇談会開催

５月20日、21日の両日、本学体育館において「第１回学生と企業との就職懇談会」が、学部４年生と大学院２年生を対象に開催されました。

今年度より採用試験が８月からと大幅に変更となる中、参加企業は青森県内はもとより南は愛知県まで、２日間で合計78社となりました。また、昨年度の本学の就職内定率は95.7％と、景気回復への期待が高まる中で堅調な結果を残すことができました。これも各企業の皆様のご支援とご理解によるものと、あらためて感謝申し上げます。

本学は、文部科学省の大学教育再生加速プログラム事業に採択されており、その一環として今年度全学生を対象にPROG テストを実施しています。この PROG テストは、ジェネリックスキルと呼ばれる大卒者として社会で求められる汎用的な能力・態度・志向について、自分自身の状況を客観的に振り返ることができます。知識を活用して実践的に問題を解決に導く力（リテラシー）と、経験を積むことで身についた周囲の環境と良い関係を築く行動特性（コンピテンシー）の二つの観点でジェネリックスキルを測定し、自分の長所と短所に改めて気づくとともに、自らが何をなすべきかを意識し、自分の適性に合った進路選択ができることが期待されます。学生諸君の一日も早い就職内定を応援しています。

学務部次長　**藤岡　与周**（システム情報工学科教授）

ADLの飴田さんが建築コンペに入賞
「第３回ＳＲＦ賞」・「ツクルーノ賞」

安全な街づくりのアイデア募集のコンペ「第３回ＳＲＦ賞」に、ＡＤＬ（建築デザイン研究会）の飴田亮太さん（土木建築工学科４年・三沢高）が応募し、夢のアイデア部門の応募104作品の中から「大賞」なしの「優秀賞」３作品の一つに選ばれ、表彰状と賞金を手にするとともに同賞の「特別賞」にも輝いた。

このコンペは、耐震補強工法「ＳＲＦ工法」（包帯補強）で知られる構造品質保証研究所株式会社（東京都千代田区）が主催しているもので、飴田さんの提案「表面化するヴォイド（空き家空間）」は、古くなって使われなくなったビルを耐震化と減築（改築する際に床面積を減らすこと）によって都市を再生していくというもの。同社が配信したインターネットでの講評で、東京大学地震研究所の壁谷寿海教授から「減築に着目した点は、問題意識が高く先端的で空き家の解消への提案にもなっている。耐震化しつつ再利用するという視点がよかった。」という評価を頂いた。

飴田さんは更に、東海地区大手の総合不動産流通業社「株式会社ニッショー」が募集した「あなたが思う楽しい部屋・あったら住んでみたい部屋」にも応募し、全国から集まった500作品の中から表彰者６人の一人に選ばれた。飴田さんの「通り土間のある暮らし」は、ツクルーノ大賞（１名）に次ぐツクルーノ賞（２名）に輝いた。受賞式出席後、飴田さんは「実際に賃貸の部屋として実現するらしいので、ぜひ見てみたいです。」と喜びを語った。

地元企業の依頼によるジオラマが完成

感性デザイン学科の学生達が、豆製品の製造と販売を行っている地元企業太子食品工業㈱の依頼を受けて取り組んできたジオラマ（地形模型）が完成し、同社の栃木県日光工場にある展示スペースで披露された。

制作したジオラマは、同社が原料に使用している大豆の産地である北海道の雄大な自然のイメージを伝えることを目的とするため、印象的な樹木を大きくしたり、高低差を強調するなど、現実とは異なる表現が要求された。学生達は実際に大豆畑が広がる北海道の美瑛町を訪れて、イメージの要素となる“セブンスターの木”や“青い池”など選び、スチロール材と下地を石膏で造形した大きさ縦横約30cmの台に、美瑛や富良野周辺の風景を「箱庭風」に再現した。今年３月、約１年をかけて制作した11個のジオラマがすべて完成し、５月から公開されている。

新入生のスタートアップをサポート
平成27年度新入生オリエンテーション

新入生オリエンテーションが、４月24日・25日、１泊２日の日程で行われた。

この催しは、新入生に大学生としての自覚と連帯感を培ってもらうことを目的に、学科ごとに趣向を凝らしたプログラムで実施しているもので、新入生には大学生活に必要な事柄を習得する好機会となっている。学生達は、それぞれ見学やリクリエーションを通して親睦を深めあい、新たな出会いの場になったようだ。

機械情報技術学科
岩手・トヨタ自動車㈱岩手工場（施設等見学）

電気電子システム学科
岩手・御所ダム（施設等見学）

システム情報工学科
青森・まかど温泉薬師堂（画像データ収集）

バイオ環境工学科
岩手・テーオー食品（株）（施設等見学）

土木建築工学科
秋田・小坂康楽館（施設等見学）

感性デザイン学科
青森・十和田湖畔「賑山亭」（ワークショップ）

第44回体育祭開催

６月４日、第44回体育祭が開催された。少し風が強かったものの終日天候に恵まれ、昨年雨で中止になった屋外競技も順調に行われた。

午前９時に開会式が行われ、体育祭を主催する体育会による各競技のルールの説明が終ると、競技にエントリーした学生達はそれぞれの競技会場に分かれ熱戦を繰り広げた。種目は、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ソフトボール、テニス、サッカー、綱引き、ドッチビー（女子）、リレー、ウォークラリーの11種目に初の体力測定が加わった。各会場では、楽しそうな笑い声や大きな歓声が沸き起こっていた。

バレーボール部 東北大学バレーボール連盟１部リーグに昇格

５月31日、宮城県仙台市の聖和短期大学を会場に「東北大学バレーボール連盟入れ替え戦」が開催され、本学バレーボール部が、１部リーグ８位の秋田大学と対戦して３－０で勝利し、１部リーグ昇格を決めた。

このリーグの２部から４部までは北と南に分かれて行われており、本学バレーボール部は２部の北リーグで青森大学を３－２で下し優勝。同南リーグで優勝した山形大医学部と２部の首位を争った結果３－０で勝利し、春季大会の過去７季で初の入れ替え戦に進出した。

マネージャーの松本彩さん（感性デザイン学科４年／岩手・平舘高）は、「感激です。練習の成果でしょうが、何より人間的に成長したのが勝因だと思います。」と笑顔で話した。

卓球部 春季リーグ戦男子Ⅰ部準優勝

５月15日・16日、「平成27年度東北学生卓球連盟春季リーグ戦」（宮城県塩釜市）に出場した本学卓球部が、６大学で争われたⅠ部リーグの団体戦で４勝１敗の成績で第２位となった。優勝したのは、本学が唯一敗退した強豪の東北福祉大学。この大会で本学卓球部は、「第85回全日本大学総合卓球選手権大会団体の部」（愛知県・７月16日～19日）への出場権を獲得し、７年連続14回目の出場を果たした。

アーチェリー部「全日本学生アーチェリー東日本大会」に出場

５月23日・24日、北海道余市郡赤井村の「キロロリゾート」を会場に開催された「2015年度第26回全日本アーチェリー東日本大会」に、本学から４名が出場し、強豪ひしめく中で持てる力を発揮、健闘を見せた。

70mダブルラウンドによる２日間の合計得点で競われるこの大会には、東北ブロックから４月に行われた東北春季個人選手権の成績上位者11名が出場した。本学の４人は、２日間とも山間特有の風に苦しめられて思うような結果をあげることができなかったが、１年生２人が60人中34位と42位と健闘した。

ソフトテニス部 青森県大会初優勝

５月31日、「青森県ソフトテニス選手権黒石大会」（社会人ダブルス・個人戦）が黒石運動公園で行われ、接戦の予選リーグを勝ち上がった感性デザイン学科１年の橋本康太郎（八戸工大一高／写真中央）・夏堀竜輔（同）ペアが、ファイナルを制し初優勝に輝いた。

この大会は、高校や大学時代に全国大会出場経験者が多数を占め、本学のソフトテニス部は、過去に東北地区大学体育大会での団体３位、県下の社会人大会での２位と３位になったことはあるものの優勝は今回初めてである。二人の今後の活躍に期待したい。

「大学生防犯ボランティア」指名書交付式

６月２日、警察庁が大学生を中心とする若い世代による自主防犯活動の促進と定着化を目的に全国で展開している「大学生防犯ボランティア」の指名書交付式が本学で行われ、青森県警察本部生活安全部の吹越一人課長から、活動に参加する本学の学生達に指名書が手渡された。青森県では八戸、青森、弘前の三地区で行われており、現在この活動に参加している本学の学生は29名。今回新たに５名が加わった。今後学生達は、授業の合間や放課後を利用して各種犯罪抑止活動に積極的に関わり、犯罪被害の未然防止に取り組んでいく。

八戸警察署から「picot」に委嘱

６月４日、八戸警察署において、小・中学生の万引き・薬物使用の防止や非行からの立ち直りのための支援活動を行う平成27年度の八戸地区少年非行防止JUMPチームと、青森県少年サポートボランティア「picot」（大学生ボランティアの愛称）の委嘱状交付式が行われた。今年度委嘱を受けた本学学生は８名。今後放課後などを利用して非行防止のためのキャンペーン活動などに参加することになっている。

リビングスタイリスト１級試験 学生奨励賞

感性デザイン学科３年の一戸彩花さん（八戸工大二高）が、リビングスタイリスト１級（日本ライフスタイル協会主催）に優秀な成績で合格し、2014年度の学生奨励賞を受賞した。優秀な成績を収めた学生受験者を表彰するこの賞は、今回から設けられたものである。一戸さんは、昨年７月の２級試験に合格し、今年２月に１級試験に見事１回で合格したもの。

この試験は、インテリアをはじめとする住生活商品の販売現場で十分な活躍ができるように、商品知識と販売技術を身に付けることを目的とした文部科学省後援による資格試験で、夏期の２級試験が本学を会場に毎年行われている。

個展開催
卒業生 守田智美さん

感性デザイン学科の卒業生の守田智美さん（平成25年度卒）が、４月18日・19日に「八戸ポータルミュージアム“はっち”」、５月12日・13日に「小さな美術館ミモザ」で個展を開催し、多くの市民らの目を楽しませた。

今回の個展は、地元新聞「デーリー東北」の文化面に連載されているエッセー「ふみづくえ」の挿絵の原画展で、守田さんが担当した昨年４月から今年３月までの50点余りの作品を披露したものである。展示された絵は、守田さんの得意な動物や幼い子どもたちを描いたモノクロ作品。好きな画家はレオナルド・ダ・ビンチと語る守田さんは、大学在学中に油絵の個展を開いたことがあり、今度は油絵の個展を開きたいと意欲を見せていた。会場を訪れた人々は、女性ならではの繊細で優しい感性に満ちた作品の前で足を止め、じっくりと見入っていた。

「南部昔コ」の紙芝居の絵を制作

３月26日、紙芝居の絵を制作していた感性デザイン学科の学生５人が、依頼主の池田恵子さん（写真左）に完成した絵を手渡した。池田さんは、八戸市内の小学生などに地元に伝わる昔話（南部昔コ）を読み聞かせるボランティア活動を行っている方で、昨秋昔話を紙芝居にできないかと同学科に制作を依頼し、協力を申し出た中から５人が選ばれ制作にあたってきた。

この日、初めて完成した絵を手にした池田さんは、「快く引き受けていただいた上に、どの絵も素敵でどこにもない紙芝居になりました。子どもたちに披露するのが楽しみです。」と感謝の言葉を述べた。制作した学生達は、「計画的に仕上げていくのが思った以上に大変でした」といい経験になったようだ。

中国新疆大学の講師 大学院で学位取得を目指す

４月下旬、本学が平成15年度より学術交流を行っている中国最西端新疆ウイルグ自治区にある新疆大学生命科学技術学院の馬東建（ま・とうけん・写真右）さんと同建築工程学院の劉耘（りゅう・うん）さんが、本学の留学生として来日した。

二人は同大学の講師で、馬さんは生物化学・分子生物学、劉さんは防災・減災が専門。今後３年間で、馬さんは機械・生物化学工学専攻博士後期課程、劉さんは社会基盤工学専攻博士後期課程で博士号取得を目指す。二人は、「教員はじめ学生、事務の皆さんがとてもよくしてくれ、安心して研究に励むことができます。皆さんに感謝しています。」と話していた。

卒業生の活躍

福士　信雄さん

工学部電気工学科（昭和51年度卒）
桜総業株式会社　代表取締役社長

職場・仕事内容

私の会社は、桜総業株式会社といいます。本社は神奈川県横浜市鶴見にあり、今年で51年目になります。電子部品製造業で主力商品は、ワイヤーハーネス、基板表面実装、ワイヤボンダ、ＬＥＤ照明です。ＬＥＤ照明は、開発から製造、販売までを一貫で行っており、ＯＥＭ、ＯＤＭはもとより、ＳＫＲという自社ブランド品も世に出しています。特にＬＥＤ直管は、すべて国内生産で年間100万本以上の生産実績があり、他社を抜いてナンバーワンとなっています。製品の特長は４段調光と工事レス品で、他社との差別化をはかっています。

応援メッセージ

私は、元来心身ともに弱い方でしたが、学生時代に空手を始めました。そこでどんなに辛く苦しくても、そこから逃げ出さない忍耐力がついたと思っております。“継続は力なり。”好きな言葉です。武道のみならず様々なスポーツは、言葉を超えたコミュニケーション能力を培うことができます。企業は、礼儀正しく挨拶のできる人材を求めていますので、是非とも学生時代に身につけて欲しいと思います。八戸工大での学生時代は、他県の人間との出会い、また教授陣との交流があってすばらしい経験だったと思います。学生諸君には多くの人との出会いを通して有意義な４年間を過ごして欲しいと思います。八戸工大ＯＢを代表して皆さんに期待しております。

青森県工業技術教育振興会賞

６月11日、（一社）青森県工業技術教育振興会（理事長：藤田成隆学長）の表彰式が開催され、土木建築工学科の金子賢治教授（写真左）に「青森県工業技術教育振興会賞」、機械情報技術学科の浅川拓克助教に「同奨励賞」が贈られた。

受賞の対象となった研究テーマ

金子賢治 教授「八戸地域地盤情報データベースの開発・運用・利活用」

浅川拓克 助教「移動型緊急手術室の開発」

八戸工業大学保護者後援会
新会長に上野直美氏を選出

６月13日、平成27年度保護者後援会代議員会が開催された。

代議員会では、平成26年度の会務及び決算（監査含む）の報告の後、平成27年度の新役員委嘱並びに予算が審議され、いずれも原案通り承認された。また、苫米地敏昭会長が退任されることになり、新会長に上野直美氏が満場一致で選出された。

代議員会終了後、「蒼穹会」（同役員ＯＢ会）と合同で懇親会が催され、山田政信蒼穹会会長はじめ本学からも多数教職員が出席し、大学の近況や学生の課外活動等を話題に親睦が図られた。

新相談員就任

学生相談室

学校生活を送っていく上でのさまざまな問題や悩みについてサポートします。

盛田　沙織　先生（臨床心理士）
担当曜日／時間
月曜日／12：00～15：00

学修支援室

勉強に関する質問など学修全般にわたり相談に応じます。

近藤　敬子　先生
担当曜日／時間
火曜日・木曜日／11：00～18：00

山下　繁昌　先生
担当曜日／時間
月曜日・水曜日・金曜日
11：00～18：00

名誉教授称号授与
阿部勝憲前教授

（平成27年４月１日付）

学校法人八戸工業大学は、６月の理事会で今年３月に退職されたエネルギー環境システム研究所（平成27年４月「地域産業総合研究所」に名称変更）所長の阿部勝憲教授（機械情報技術学科教授併任）に、「名誉教授」の称号を授与することを承認し、７月８日、学長室において授与式が行われた。

阿部教授は、昭和18年生まれ。平成19年に同研究所の前身「異分野融合科学研究所」の所長並びに機械情報技術学科教授及び大学院工学研究科機械・生物化学工学専攻教授として着任された。専門は、原子力学、核融合学。

2015八戸工業大学公開講座

※詳細は本学ＨＰをご覧下さい。

（１）非日常空間と記憶の環境デザイン
感性デザイン学科の取り組み
９月12日（土）八戸ニューポート
（八戸市十三日町フラワーエイトビル３F）

（２）火の玉のなぞと魅力　**どうやって作る⁉→科学で解明？**
10月３日（土）秋田県大館市民文化会館

（３）南部地方の美と健康の伝承　**食用菊と紫草について**
10月３日（土）本学メディアセンター・バイオ環境工学科

（４）超小型・動画配信サーバ構築講座
10月３日（土）八戸市種差海岸インフォメーションセンター

（５）スポーツ動作の科学
スポーツ科学の目から見た良い動きとは？
10月23日（金）八戸ポータルミュージアムはっち
「はっちひろば」

（６）地上でつくる太陽エネルギーの新しい利用
10月24日（土）岩手県二戸市シビックセンター

（７）おもしろ電子工房　**ライントレースロボットを作ろう！**
11月３日（火）岩手県久慈市中央公民館

（８）ロボティクス基礎講座　**多脚歩行ロボットを作ろう**
11月21日（土）本学機械情報技術学科

（９）国指定登録文化財「新むつ旅館」の暮らしと建築的特徴を学ぶ
11月21日（土）八戸市小中野「新むつ旅館」

（10）サイエンスカフェ　**青森県内のエネルギー利用状況**
11月21日（土）八戸ニューポート

（11）親子で作るクリスマスオブジェ　**制作体験講座**
12月５日（土）本学感性デザイン学科（工芸実習室）

（12）スマホアプリ作成講座（予定）

平成27年度教員免許状更新講習

本学では、文部科学大臣の認定を受け、現職教諭等を対象とする教員免許状更新講習を実施します。平成27年度は、10月31日、11月１日、３日に、選択領域の講習プログラム（教科指導・生徒指導その他教育の充実に関する事項）を対面授業形式で行います。

制度の概要、講習内容、受講申込等、詳細は本学ＨＰをご覧下さい。

第43回工大祭
「Feeeeel」
～感じるがままに～
10月10日(sat)・11日(sun)

八戸工業大学第15回同窓生の集う会

日　時：平成27年10月３日（土）17：30～
場　所：八戸グランドホテル
〒031－0031 八戸市番町14番地　TEL 0178－46－1234
申込先：同窓会本部事務局　dosokai@hi-tech.ac.jp

【支部総会】

関東支部総会（東京）　平成27年９月５日（土）
東北支部総会（仙台）　平成27年９月26日（土）
秋田支部総会（秋田）　平成27年11月21日（土）
（詳細は八戸工業大学同窓会ＨＰに掲載）

平成27年度保護者懇談会日程

開催地	開催日	懇談会場
弘前市	9月5日(土)	ホテルニューキャッスル
秋田市	9月5日(土)	ルポールみずほ
青森市	9月6日(日)	ウェディングプラザアラスカ
仙台市	9月6日(日)	仙台ガーデンプレス
盛岡市	9月12日(土)	エスポワールいわて
八戸市	9月13日(日)	八戸プラザホテル 外部講師による就職講演会（八戸会場のみ）

問合せ先（事務部学事課）　TEL 0178－25－8111（直通）

行事予定　8月～10月

8月
5日(水)　夏季休業開始
8日(土)　オープンキャンパス
25日(火)　編入学･転入学(一般前期)
27日(木)　大学院一般選抜･特別選抜～28日(金)
29日(土)　ＡＯ入試第１クール

9月
15日(火)　夏季休業終了
16日(水)　後期授業開始
26日(土)　ＡＯ入試第２クール

10月
10日(土)　工大祭～11日(日)
ミニオープンキャンパス～11日(日)

オープンキャンパス2015
未来が、ここから、動きだす。

開 催 日　７月26日（日）・８月８日（土）
開催時間　10：00～14：30（９：30受付開始）
プログラム

▶オープニングガイダンス▶大学紹介と入試説明▶推薦・AO 入試対策講座▶キャンパスツアー▶大学周辺ツアー▶学科体験▶保護者向けガイダンス / 学科見学▶学食体験

各種コーナー：学科紹介ギャラリー・サークル紹介・学生生活相談・就職関連・入試 / 特待生相談
※事前予約不要・入退場自由・無料送迎バス（予約制）を運行します。詳細は本学 HP にてご案内しております。
問合せ先（入試部入試課）　TEL 0178－25－8000（直通）

進学相談会スケジュール　（９月以降開催分）

開催地	開催日	懇談会場	時　間
秋田市	9月1日(火)	アルヴェ	15:30～18:30
仙台市	9月7日(月)	ホテルメトロポリタン仙台	15:00～18:30
青森市	9月8日(火)	青森国際ホテル	15:30～18:30
八戸市	9月9日(水)	八戸プラザアーバンホール	15:30～18:30
盛岡市	9月17日(木)	ホテルメトロポリタン盛岡本館	15:30～18:30

問合せ先（入試部入試課）　TEL 0178－25－8000（直通）

平成28年度入試日程

工学部･感性デザイン学部

	クール	エントリーカード受付期間	面　談　日
AO入試	第１クール	2015年８月３日(月)～８月21日(金)	2015年８月29日(土)
	第２クール	2015年９月７日(月)～９月15日(火)	2015年９月26日(土)
	第３クール	2015年11月16日(月)～11月24日(火)	2015年12月５日(土)
	第４クール	2016年２月１日(月)～２月５日(金)	2016年２月12日(金)
	第５クール	2016年３月１日(火)～３月12日(土)	2016年３月17日(木)

入試区分			願書受付期間	試験日
推薦入試	指定校制	専門高校・総合学科	2015年11月１日(日)～11月７日(土)	2015年11月14日(土)
		普通高校	2015年11月１日(日)～11月７日(土)	2015年11月14日(土)
	公募制推薦入試（他大学併願可）		2015年12月１日(火)～12月15日(火)	2015年12月22日(火)
専門・一般入試	専門高校・総合学科		2016年１月４日(月)～１月25日(月)	2016年２月４日(木)
	一般	前期 ※	2016年１月４日(月)～１月25日(月)	2016年２月４日(木)
		後期	2016年３月１日(火)～３月15日(火)必着	2016年３月22日(火)
センター利用入試		前期 ※	2016年１月４日(月)～１月29日(金)	2016年１月16日(土)・17日(日)の大学入試センター試験本学の個別試験は課さない。
		中期 ※	2016年２月１日(月)～２月19日(金)	
		後期	2016年３月１日(火)～３月22日(火)必着	

※ 学業特待生選考試験を兼ねる。

問合せ先（入試部入試課）　TEL 0178－25－8000（直通）

第68回青森県高等学校総合体育大会

アイスホッケー部 18年連続

ソフトテニス部女子 3年連続

ゴルフ部男子 3年連続

連続優勝による表彰

八戸工業大学第一高等学校

闘魂旗獲得

2年連続20度目

団体優勝

ソフトテニス部（男子）
水泳部（男女）
ウエイトリフティング部
レスリング部
バスケットボール部
ゴルフ部（男女）
登山部

団体準優勝

ボウリング部

団体第3位

アーチェリー部
自転車競技部
ソフトテニス部（女子）

ソフトテニス部（男子） 3年連続37度目

水泳部（男子） 8年連続22度目

水泳部（女子） 2年連続8度目

ウエイトリフティング部 3年ぶり13度目

レスリング部 2年連続11度目

バスケットボール部 2年ぶり7度目

ゴルフ部（男子） 4年連続5度目

ゴルフ部（女子） 8年ぶり2度目

登山部 12年連続14度目

第68回青森県高等学校総合体育大会

男子総合優勝

2年連続20度目

高総体を振り返って

６月５日～８日、「瞳にともせ 熱き想い その手につかめ勝利の喜び」のスローガンの下、第68回青森県高校総体が開催され、県内各地で熱戦が繰り広げられた。総合開会式では、アイスホッケー部、ゴルフ部男子、ソフトテニス部女子が連続優勝による表彰を受けた。

今大会を振り返ってみると、まず早期開催のゴルフ部がアベック優勝を果たし、学校全体に大きな弾みを与え士気を盛り上げてくれた。最終成績は、男子がソフトテニス、水泳、登山、ウエイトリフティング、レスリング、バスケットボール、ゴルフの７競技を制し、圧倒的な強さで２年連続20度目という男子総合優勝を成し遂げ、闘魂旗を獲得した。また、ボウリングが準優勝、第３位に自転車競技、アーチェリーが入賞した。女子はゴルフと水泳が優勝。ソフトテニスが第３位に入賞を果たした。

こうした結果は、運動部の顧問らが惜しみない愛情と情熱を注いできたことの証であろうが、決してそれだけでは成し遂げられないことである。何よりも保護者の皆さんや、日頃から本校の教育活動にご理解ご支援を頂いている関係者各位の多大なる協力と熱い応援を忘れてはならない。

特別活動指導部長　工藤 幸太（教諭）

高総体優勝種目一覧

■団体優勝

ソフトテニス（男子）　3年連続37度目
佐々木勇人（3年）　小坂洋介（3年）　山田杏也（3年）
栗林佑輔（3年）　勝山拓海（3年）　三浦陸貴（2年）
岩澤玲弥（2年）　若山静哉（2年）

水　泳（男子）　8年連続22度目
高橋　輝（2年）　千葉祐太郎（2年）　吉崎　旭（2年）
小松駿太（2年）　若本玲央（2年）　野沢雄大（1年）
中村誠一朗（1年）

水　泳（女子）　2年連続8度目
平舩真帆（3年）　古川茉采（2年）　荒岡成美（2年）
中川美紅（2年）　菊池恵実（2年）　古川聖来（1年）
関下桃茄（1年）

登　山　12年連続14度目
大久保直樹（3年）　芦渡　齋（2年）　田坂　駿（2年）
古里祐貴（2年）　三澤魁人（2年）　大崎烈弥（2年）
坂東航平（2年）　小笠原友也（2年）

ウエイトリフティング　3年ぶり13度目
久保優人（3年）　杉村惇希（3年）　差美晃太（3年）
高橋康平（3年）　須郷和誠（3年）　茶田平泰雄（3年）
株　康太（2年）　副島拓夢（2年）　田名部皐貴（2年）
高橋裕晃（2年）　鈴木　諒（2年）　沢井崇彦（2年）

レスリング　2年連続11度目
永田丈治（3年）　西舘　優（3年）　五戸晋太郎（3年）
坂田秀生（3年）　折川　頼（3年）　中川原瑞樹（3年）
田中航平（3年）　平野柊太（2年）　田沢　大（2年）
軒　遥佑（2年）　小笠原龍成（2年）　乙供拓也（2年）
富永勇志（2年）　小川航大（1年）　林　公平（1年）

バスケットボール　2年ぶり7度目
佐々木圭（3年）　庭　寛太（3年）　細谷地辰馬（3年）
三上真輝（3年）　梅田大雅（3年）　湊　天斗（3年）
小嶋月海（3年）　菊池倭史（2年）　伊保内峻（2年）
荒川裕紀（2年）　北村大輝（2年）　菊池朗音（2年）
沼田郷陸（1年）　木立　椋（1年）　若林武生（1年）

ゴルフ（男子）　4年連続5度目
坂下　健（3年）　島守良誓（3年）　田中　優（3年）
須藤吏城（1年）

ゴルフ（女子）　8年ぶり2度目
能登谷鈴衣（3年）　工藤鈴夏（1年）　小山内亜泉（1年）
濱谷サララ（1年）

■個人優勝

ソフトテニス（男子）
岩澤玲弥・若山静哉

水泳（男子）
（100m・200m背泳ぎ）高橋　輝
（200m・400m自由形）吉崎　旭
（400mリレー）高橋輝・野沢雄大・小松駿太・吉崎旭
（800mリレー）高橋輝・小松駿太・吉崎旭・中村誠一朗
（400mメドレーリレー）
高橋輝・野沢雄大・小松駿太・吉崎旭

水泳（女子）
（100m・200m平泳ぎ）平舩真帆
（200m・400m個人メドレー）荒岡成美
（100m・200m自由形）中川美紅

レスリング
（フリー/グレコローマン55kg級）永田丈治
（フリー/グレコローマン84kg級）西舘　優
（フリー60kg級）小川航大

ウエイトリフティング
（56kg級）杉村惇希　（69kg級）高橋康平
（77kg級）副島拓夢　（85kg級）茶田平泰雅
（94kg級）高橋裕晃　（105kg級以上）鈴木諒

登　山
（山岳知識）大久保直樹・古里祐貴・坂東航平

ゴルフ（女子）
能登谷鈴衣

ボウリング
（二人チーム戦）畑川侑太（3年）・高坂拓斗（3年）

進路展望　～企業訪問を終えて～

今年も就職状況を把握するために、4月と6月に関東方面への企業訪問を実施した。卒業生の多くはよく頑張っており、訪問した企業から今年もぜひ生徒を紹介して欲しいという回答をもらうなど、良い手応えが得られた。

昨年の求人状況は最近になく出足が早く、求人件数も過去5年の中では一番多かった。東京オリンピックに向けたインフラ整備や、大震災の復興工事等で建設業界が好調であることが理由の一つと思われ、生徒達はかなり早い段階で内定をいただいた。訪問した建設業界の企業の中には、専門コース以外の採用も考えているというところもあった。

今年は、県外を中心に求人が増えると予想されている。企業が人材確保の為に2月頃から動き出しているからである。一方県内は、7月の解禁を待たないとわからないという状況が続いている。本校では、近年県内就職を希望する生徒が増え、県外への就職希望者が減る傾向にある。子どもが県内に就職することは、保護者にとっては安心するところだと思うが、定着率が低いのが懸念される。生徒一人一人の技能や技術を向上させるためにも、また見聞を広めるためにも県外就職を選択肢に加え、進路指導室で企業の情報収集に積極的に取り組んでいきたい。

ボランティア活動

リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2015 八戸

6月13日・14日、八戸市長根運動公園陸上競技場において、「リレー・フォー・ライフ・ジャパン2015八戸」（公益財団法人日本対がん協会・八戸実行委員会主催）が開催され、本校から9名が参加した。

この催しは、がん征圧・患者支援を目的に、患者と健常者が一緒に会場の設営や模擬店の販売などを通して交流を図ろうというものである。1年生は、初めての郊外活動に緊張の様子だったが、上級生に教えてもらいながら2日間の日程を無事に終えた。この活動は、命の大切さや健康について考えたり、協力して仕事を成し遂げることのすばらしさや達成感を知る機会となった。

交通安全教室

4月24日、第一体育館において、交通安全教室が行われた。講師に三八五オートスクールの慶長幸高氏を迎え、道路交通法の改正に伴う自転車の安全利用について講話をしていただいた。生徒達は、6月1日から自転車運転のルールが格段に厳しくなるという説明を真剣な表情で聴き入っていた。また、ビデオで現実に起こり得る事故の映像を目の当たりにし、自分の生活と重ね合わせながら振り返っている様子だった。最後に安全に対する決意表明として、「交通安全宣言」を高らかに唱和し終了した。

歓迎会　志学寮へようこそ

4月23日、星雲会館で夢と希望を胸に、パワーに満ち溢れる新入生17名の歓迎会が行われた。自己紹介と一発芸が披露され、大いに盛り上がった。パワフルな新入生に触発された上級生も参加し、会場は笑いの渦に包まれた。今後の新入生の活躍に期待したい。

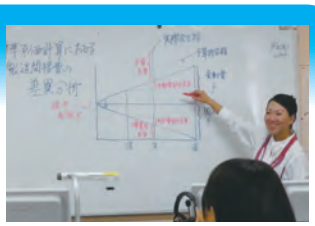
卒業生の活躍

姉妹で夢を叶えました

江刺家 敦子さん
（平成元年度卒　旧姓 菊池）
東京女子体育大学体育学部卒
八戸第一養護学校勤務

ソフトテニス部に所属していた3年間、顧問の先生に何度も「本気になれ！」と言われ続けました。自分では本気のつもりでしたが、いつもどこかで自分に言い訳したり、壁を作っていたことを思い出します。八戸市内の中学校勤務を経て、現在は特別支援学校に勤務しています。障害のある生徒の課題克服のための手助けとなるべく、26年前の反省を胸に、目の前の生徒と「本気」で向き合い、試行錯誤する毎日です。

森本 恭子さん
（平成2年度卒　旧姓 菊池）
青山学院大学経営学部卒
東京都立大島高等学校勤務



私の高校時代は、まさに激動の日々でした。師に私の魂を揺さぶられ、突き動かされました。私を育んだ土壌こそ、八戸工大一高です。『工業高校出身・情報科進学コース卒業』という、ちょっと変わった経歴は、商業科教員として働く私の小さな自慢です。

「先生、私何にむいてますか？」「そんなの、知らない。」「えっ、ひどい…」「必死にやってない人の適性なんか知らない！」大切なのは、技術や能力の高さではありません。真剣に何かに取り組む姿に感動し、その過程でもがき苦しんでいるからこそ助けてやろうと思うのです。それにしても、その渦中にいる高校生はなんて美しいのだろうとこの頃思うのです。私も高校時代は美しく映ったのかなと、反省をしつつ当時を振り返っております。

第68回青森県高等学校総合体育大会

第68回青森県高等学校総合体育大会が、６月５日～８日に開催された。本校は12の競技に選手約350人が参加した。ほとんどの３年生にとっては最後の大会となるため、選手だけでなく応援にも力が入り、各会場には多くの保護者や在校生が駆けつけ声援を送った。

団体競技は男子硬式テニスがベスト８、女子バドミントン、女子硬式テニス、女子バスケットがベスト16に進出した。個人競技では女子テニス個人で大谷地沙織さん（カレッジコース３年／八戸第三中）がシングルスでベスト８、水泳では佐藤拓真さん（カレッジコース２年／鮫中）が男子100m自由形で第３位に入賞を果たした。

ポスター採用

～６年連続21回目の快挙～

第68回青森県高校総体ポスターコンクールにおいて、美術コース２年の佐々木由衣さん（江陽中）が最優秀賞、安保泉里さん（福地中）が優秀賞に選ばれ、６月５日に青森市で行われた総合開会式において表彰された。

最優秀賞の佐々木さんの作品は、ウエイトリフティングをモチーフとしたもの。エネルギッシュな色彩で気迫溢れる表情の一瞬が見事に表現されている。本校生徒の作品が最優秀作品に選ばれるのは今回で６年連続、21回目となる。佐々木さんの作品は、掲示用ポスターと総合開会式プログラムの表紙に採用された。

今年もやります ボランティア

「ヴァンラーレ八戸」公式戦

本校生徒が、県内初のＪリーグを目指す「ヴァンラーレ八戸」のファーストステージのボランティアサポートスタッフとして参加した。県内で開催された６試合のうち４月と５月の３試合で受付・本部のテント設営、のぼりの設置などの会場設営のほか、清掃やチケットもぎりなどに延べ27名が携わった。強風が吹き荒れる悪天候の日もあったが、観戦者達から「ご苦労様、大変だけど頑張ってね。」「どうもありがとう。」など温かい言葉を掛けられ、充実感を感じていたようだ。

うみねこウォークラリー

６月14日、ライオンズクラブが主催する「第10回うみねこウォークラリー（種差海岸遊歩道）」に本校生徒58名がボランティアとして参加した。生徒達は一般参加者らとお喋りをしたり、種差海岸の歴史や植生を詳しく教えてもらいながら遊歩道を歩いた。普段接することが少ない年代の様々な経歴を持つ方々から、知識・教養を学び、積極的にコミュニケーションをはかっていた。

登下校に季節の彩りを
記念樹植樹

このたび創立40周年記念事業の一環として、校門から生徒玄関前のグラウンド土手に記念樹が植えられた。植えられたのは紅ヤマボウシ、コニカ、枝垂れ梅の３種類。さらにその周りには、一昨年伐採されたヒマラヤ杉の切り株を利用したベンチが設置され、生徒たちの憩いの場所となっている。今の時季は、初夏に咲く紅ヤマボウシがかわいらしい花を付けており、登下校に彩りを添えている。

情報ビジネスコース　毎年恒例清掃活動奉仕

６月13日、情報ビジネスコース全学年で、蕪島周辺と舘鼻漁港の岸壁の清掃奉仕活動を行った。毎年、観光客が増加するシーズンを控えたこの時期に実施しているこの活動は、郷土への奉仕心と公徳心の育成が目的である。

生徒たちは今年から導入した「バディ・システム」（常に２人がペアとして助け合う）により担当区域のゴミ拾いをした。１つの班は各学年のペアが１組以上含まれるよう構成したことで、上級生が下級生を指導しながら協力して作業していた。このシステムは生徒たちからも好評であり、例年に比べて積極的な行動を引き出すことができた。

卒業生の活躍

木村　聡さん
（昭和56年度卒）
八戸せんべい汁研究所
八戸観光コンベンション協会

「Ｂ－１グランプリ」をご存知ですか？地元で愛される食べ物を活用した、まちおこしに取り組む団体が全国から集まるイベントです。今や２日間で50万人以上が集まり、テレビや新聞などメディアの取材が200社以上も来る、国民的なイベントになりました。

実はこのＢ－１グランプリは、八戸で生まれた企画です。八戸地方に昔からあった「せんべい汁」を使って地域を元気にしようと私が立ち上げた「八戸せんべい汁研究所」のメンバーと共に、各地のご当地グルメを全国ブランドにして、その地方への経済効果を生み出そうと仕掛けた、全国初の企画なのです。

高校時代の私は、将来の夢も見えず大学進学を契機に八戸を出たいと、それだけを考えていました。３年になって担任から青年海外協力隊の話を聞き、海外の途上国で農業を指導しようと大学に進みました。残念ながら家庭の事情で海外の夢を断念し、卒業後は八戸に戻りましたが、対象が途上国から郷土八戸に変わっても、地域のために何かをしたいという想いは持ち続けていました。そこから「地元の資源を活かして地域を売り込み、自分の住むまちを元気にしよう」という、今の私の活動スタンスにたどり着きました。

今の時代、八戸からでも全国的なムーブメントを創ることができます。むしろ、地方から日本を元気にするべきなのです。だからこそ、学生時代にできるだけ多くの色々な経験をして、自分が楽しめる「夢」をぜひ見つけて下さい。

生きた学びを　～総合学習（２学年）～

２学年の総合学習は、生徒の希望進路に合わせ６つの系統に分かれ独自の活動を行っている。６月17日、系統ごとに企画した体験学習を実施し、そのうち医療系選択者39名が八戸西健診プラザを見学した。施設見学だけでなく、職員の方々から仕事内容や医療職に従事する上での心構え、職業の意義などについて学んだ。

また、人文系選択者36名は、８人の外国人を招いて国際交流会を実施した。折り紙やゲームでうちとけたあと、身振り手振りを交えながら英語でコミュニケーションをはかった。直接外国人から文化や生活習慣などを聞いた生徒達は、「国の名前は知っていても、その国の生活については初めて聞くことばかりで、新鮮な発見だった。」などと感想を述べていた。

ＰＴＡ母親研修旅行

６月27日、ＰＴＡ母親研修旅行が行われ、20名の保護者が参加した。大型バスで八戸を出発し、まず秋田県の小坂康楽館で常打芝居「劇団夢の旅」を鑑賞した後、あかしあ亭で地元料理を楽しんだ。午後は、岩手県の花巻温泉バラ園を訪ねてバラ祭りを見学し、多種多彩なバラを堪能した。参加者の方々は、ほんの一瞬ではあるが忙しい生活から離れ、リフレッシュすることができたようだ。

創立40周年を迎えます

今年度、本校は創立40周年を迎えます。本校40年の節目を迎えるにあたり、下記により記念式典及び記念講演会を開催します。（記念講演会は、在校生と保護者対象です。）

昭和50年（1975年）４月に県内随一の私立進学校を目指し男女共学の普通科高校として発足した本校は、地域社会のご支援と関係者のたゆまぬ努力により、40周年を迎えることができました。地域の皆様、本校の卒業生や保護者の方々のこれまでのご厚情に心より感謝申し上げるとともに、今後も変わらぬご支援をお願い申し上げます。

○記 念 式 典：10月16日（金）14:00～本校第二体育館
○記念講演会：10月21日（水）14:30～本校第二体育館

うんどうかい

～年中 遊戯「がむしゃら行進曲!!」～

「腕を伸ばしてかっこよく。」

～年長 遊戯「R.Y.U.S.E.I.」～

「バルーンに初挑戦！
うまくできるかな?」

～年長 綱引き～

「力を合わせて。
オーエス！オーエス！」

～年少 親子ゲーム～

「ぞうさんに乗ってぶぶ出発～」

～八戸工業大学吹奏楽部～

「素敵な演奏と、お手伝いありがとうございました」

７月５日、運動会が開催された。我が子の活躍を一番良い席で見たいと、朝早くから場所取りをする保護者。その様子を眺めながら、教職員総出で準備に取りかかった。一段落する頃には、ぞくぞくと子どもたちが家族と一緒に登園してきた。

放送で子どもたちに集合を呼びかけたが、なかなか親のそばから離れられない子がいた。何とか無事に揃い、八戸工大の吹奏楽部のファンファーレで入場を開始した。開会式後は、体操、個人や団体の競技、遊戯、親子ダンスやゲーム、未就園児、来賓･祖父母、小学生、父母の各ゲームが次々に行われ、応援合戦がさらに熱を増す年長児全員によるリレーを最後に、全競技が無事終了した。

卒園児の活躍

大切な思い出

私の心の中には、大切なさくら幼稚園の思い出がたくさん詰まっています。「ケンケンパ」をしながら入口に向かったり、園庭を走り回ったり、元気に過ごした楽しい日々。担任の先生は、現在の園長木村喜久子先生でした。「おかいものごっこ」のお金をはさみで切るのが一番遅かったり、遊戯も自信がなくて隣の友達を見て踊ったりと、引っ込み思案の私を優しく導いて下さいました。

そんな思い出あふれる幼稚園に入園した娘二人もまた、先生方が笑顔で迎えて下さいました。朝、バスが来るのを楽しみに待ち、喜んで乗り込む姿。帰りは、空き箱の工作を大事そうに持ってバスから降りる姿を見るのが、母親として幸せな瞬間でした。

そして私は、子育てをしながら教員採用試験の勉強を続け、小学校教諭になるという夢を叶えました。クラスにはさくら幼稚園卒の子どももいて、楽しそうに園での思い出話をしてくれます。そんな子どもたちに、夢を実現するために希望を捨てず努力することの大切さを教え、励ましていきたいと思います。

小橋　共絵さん
昭和57年度卒
小学校教諭

ようちえんってこんなところ

～年長組の畑～

「大きくな～れ。僕達の野菜。」

～交通安全教室～

「右、左。車が来ないかよ～くみて！」

～八戸公園　三八五こども館～

「大きいブランコ楽しいね。」

～幼年消防クラブ編入式～

「放水訓練始め。
お水、いっぱい出てきたー！」

とらんぽらん

～ある日の保育日誌～

満３歳いちご組
6月9日（火）

給食の時間、嫌いな牛乳を見て「これ・・・いや」と言う子がいた。周りの子どもたちがおいしそうに飲んでいるのを見せて促すと、少しずつ飲み始め「ゲーしないね」と案外満足そうにしていた。少し前までは、友達が何をしようが頑として受けつけなかったのが、少しずつまわりの友だちの行動を気にかけるようになっている。これからが楽しみだ。

年少組　6月2日（火）

ビー玉ころがし（絵の具あそび）をした。手首を上手に使ってビー玉を転がすことが出来る子、そうでない子とさまざまだった。手首を上手に使える子は、箸の持ち方が上手な子が多いことにはたと気づいた。転がす順番を今か今かと待っている子どもたち。名前を呼ぶと「これとこれとこれ」と、ビー玉に付ける色を決めていたようで選ぶのが早かった。初めて体験することばかりだが、楽しそうに取り組んでいる。

「ビー玉 ころころ 楽しいよ」

年中組　5月22日（金）

何日も前から子どもたちが楽しみにしていた遠足。朝から大きな声を出してはしゃいでいた。行きのバスの中では「お弁当はいつ食べるの？」「どこで遊ぶの？」と質問が止まらなかった。「こどもの国」に着いてゆっくりリスやサル山を見物し、スパイダーネットで汗だくになって遊んだ。ネットの上で泣いている子もいたが、降りようとはしなかった。帰りのバスは、くたびれたのかみんな静かにしていた。

「しっかり つかまって。
しゅっぱーつ !!」

年長組　5月18日（月）

外に出るたび雲梯遊びをしていた子どもたち。「お休みの時に公園で雲梯をしたよ」と言う子もいた。補助なしで最後までわたれる子もいるが全くできない子もいて、それでも「できるようになりたい」と頑張っている。中でも二人の男児が、何度も何度も挑戦して一人で前に進めるようになり、そのことが自信と喜びになったようだ。ただ、諦めてしまう子もいるので、やる気が失われてしまわないよう気をつけなければならない。

理事会・評議員会

学校法人八戸工業大学は、４月28日に理事会、５月22日に理事会・評議員会、６月19日理事会を開催して下記案件について審議し、それぞれ原案通り承認した。

◇4月28日　理事会

・八戸工業大学「教授会規則」制定に関する件

・八戸工業大学大学院「工学研究科委員会規程」改正に関する件

・八戸工業大学「エネルギー環境システム研究所」名称変更に関する件

◇5月22日　理事会・評議員会

・平成26年度事業報告に関する件

・平成26年度決算に関する件

・平成26年度監査報告に関する件

・平成27年度学費減免に関する件

・評議員の退任に伴う補欠評議員の選任に関する件

・八戸工業大学第一高等学校用地の買い受けに関する件

・八戸工業大学「名誉教授規程」改正に関する件

◇6月19日　理事会

・評議員の退任に伴う補欠評議員の選任に関する件

・八戸工業大学「名誉教授の称号」授与に関する件

・八戸工業大学大学院工学研究科「建築工学専攻」の学生募集停止に関する件

表紙・裏表紙　　八戸工業大学第一高等学校

蒼穹
Hachinohe Institute of Technology Press SOUKYU　2015(平成27年)　夏号　No.121
[発　行] 学校法人八戸工業大学・広報課　〒031-8501　青森県八戸市大字妙字大開88-1　ダイヤルイン案内 (0178)25-3111　FAX (0178)25-2769
URL 八戸工業大学 http://www.hi-tech.ac.jp　八戸工大一高 http://www.kodai1.ed.jp　八戸工大二高 http://www.kodai2-h.ed.jp　さくら幼稚園 http://www.lib.hi-tech.ac.jp/sakura/